

京都大学人文科学研究所共同研究実績・活動報告書

(3 年計画の 3 年目)

1. 研究課題

東西知識交流と自国化—汎アジア科学文化論

Interaction and acculturation of knowledge between the East and the West: A pan-Asian approach toward the history of science in Asia

2. 研究代表者氏名

武田時昌

TAKEDA Tokimasa

3. 研究期間

2017 年 04 月 - 2020 年 03 月 (3 年度目)

4. 研究目的

自然探究の学問において、異郷からもたらされる典籍、文物や文化的情報は常に刺激的であり、時には大きなブレイクスルーを誘発した。中国において、インド、イスラム、ヨーロッパなどの西方世界からもたらされた科学技術は、理論的変革をもたらすほどに大きな作用を発揮した。また、中国的受容を経た科学や技術は、韓国、日本やベトナムに伝播し、それぞれに異なる自国化の道を辿った。近世日本では、新興の大陸文化を受容しながら、一方ではイエズス会宣教師やオランダから直接に科学知識を導入したことによって、ハイブリッドな独自の近世科学文化を開花させた。本研究プロジェクトでは、『宿曜経』などの仏教天文学の展開や明末清初の西学受容を考察対象に取り上げ、宇宙論、自然観、生命観の形成と変容過程を探ることによって、東西知識交流と自国化の具体的な様相を明らかにする。そして、汎アジア的な視座から伝統科学文化の構造的把握を試みる。

In the pursuit of the understanding of nature, texts, artefacts and cultural knowledge from foreign lands often play a stimulating role and in some cases bring about major conceptual breakthroughs. In the case of China, the science and technology introduced from the "Western world", hence, India, Islamic world and Europe, had a profound, revolutionary effect. Through the Chinese intermediary, this body of scientific and technological knowledge was further transmitted to Korea, Japan and Vietnam, where this knowledge underwent different forms of indigenization. In pre-modern Japan, while the influence of new culture from China

continued to be felt, scientific knowledge from the Jesuit missionaries and the Dutch was directly introduced. A unique hybrid form of pre-modern Japanese scientific culture was thus formed. This research project focuses on the Buddhist astronomy as exemplified by texts such as the *Xiuyao jing* 宿曜經, and the reception of "Western knowledge" during the late Ming and early Qing. By examining the formation and transformation of cosmology, theories on nature and life, we hope to illustrate the interaction of knowledge between the East and the West, and the acculturation thereof. Ultimately, an attempt to reveal the underlying structure of traditional Asian science from a pan-Asian perspective will be made.

5. 本年度の研究実施状況

東アジア世界の科学文化を構造的に把握するために、異国間における科学知識の接触現象にスポットを当て、受容過程と自国化していく史的展開の諸様相について汎アジア的視点から多角的な考察を試みた。本年度は、昨年度に引き続いて『宿曜經』の会読を行いながら、六然社の寄金丈嗣氏、青山学院大学准教授の山崎藍女史を特別講師に招いて研究発表会を開催した。9月10日に園城寺に宿曜道及び仏教天文学関係資料の調査を行った。そして、最終成果報告として訳注作成に向けた準備に取りかかった。8月24-25日に北京において、北京大学東方文学研究センター、北京大学人文学部、ブリティッシュコロンビア大学仏教フォーラムとの共催で国際シンポジウムを開催し(総合テーマ「從中古到近代写本与跨文化交流(From Medieval to Pre Modern Times: Manuscripts and Cross Cultural Studies)」、代表:陳明(北京大学教授)&武田時昌、日本側の参加者23名、紙面発表者1名)、これまでの研究成果を踏まえた研究発表を行うとともに、国際的な共同研究の連携を図った。また、12月14-15日に研究班の若手研究者が中心となって「緯書と経書学」国際シンポジウムを開催した。二つの国際シンポジウムの研究成果書は、2020年度に刊行する予定である。

6. 研究成果の概要

最終報告書に記載

7. 本年度の研究実施内容

2019-04-06 兵書選読 発表者 武田時昌 人文科学研究所・教授

古の身体の使い方 発表者 寄金丈嗣 六然社主宰

2019-04-07 宿曜經研究会 『宿曜經』卷上 19b04-20a06 発表者 白雲飛

2019-05-31 宿曜經研究会 『宿曜經』卷上 20a07-21a02 発表者 小林博行

『円珎疑問』について 発表者 石井行雄

2019-06-01 五味について 発表者 清水浩子 大正大学総合佛教研究所・客員研究員

唐詩に垣間見える術数文化——白居易・李賀の詩歌分析を中心に—— 発表者 山崎藍

青山学院大学・准教授

2019-07-05 宿曜経研究会『宿曜経』巻上 21a03-22a07 発表者 白 雲飛

2019-08-24 從中古到近代 : 寫本與跨文化 國際學術研討會 International Symposium on “From Medieval to Pre Modern Times: Manuscripts and Cross Cultural Studies ”
日本中世の抄物資料: 書寫文化與漢籍受容 発表者 武田時昌 京都大学人文科学研究所・教授

Creating Order out of Chaos in Imperial Collections 発表者 Michael Friedrich 傅敏怡
Asien Afrika Institut, Universität Hamburg, Germany

Manuscript Cultures in Thailand: Form, Believe and Beauty 発表者 Utain
Wongsathit Faculty of Archaeology, Silpakorn University, Thailand

司会 真柳誠 茨城大学・名誉教授

コメンテーター Jonathan Pettit 裴玄錚 Assistant Prof., Department of Religion,
University of Hawai‘i-Manoa

針灸吉田流《蟲書》の成書過程 発表者 池内早紀子 大阪府立大学大学院・博士課程

発表者 大形徹 大阪府立大学大学院・教授

早稲田大學圖書館藏《底野迦真方》寫本初探 発表者 陳明 北京大学東方文学研究中心・
教授

室町時代養生書の寫本小考 発表者 劉 青 京都大学人間・環境学研究所・博士課程

日本《醫心方》(半井家本)卷子本和背書資訊傳達和媒體形式 発表者 永瀬(多田)伊織
大阪府立大学・研究員

司会 Michael Friedrich 傅敏怡 Universität Hamburg Hamburg

コメンテーター 真柳誠 茨城大学・教授

日藏漢籍《靈台秘苑》の比較研究 発表者 高橋あやの 大東文化大学・非常勤講師

『尚書大傳』輯佚管窺 発表者 伊藤裕水 京都大学・非常勤講師

瀧川資言手録《史記正義佚存》之發現與其歷史背景 発表者 小澤賢二 南京師範大学文
学院・客座教授

山谷詩在日本禪林接受的情況—以山谷詩漢文抄中的文學術語“味外味爲例” 発表者
大島繪莉香 名古屋大学人文学研究科・博士課程

淺探江戸後期成書の有關中國宴席文化未刊著作 発表者 高井たかね 人文科学研究所・
助教

司会 河野貴美子 早稲田大学・教授

コメンテーター 伏俊璉 (西華師範大學寫本研究中心・教授

Surveying Manuscripts and Instruments of Kaga no Kuni in Mid and Late Tokugawa
Japan 発表者 Fun g Kam Wing 馮錦榮 University of Hong Kong, China

《山相秘録》中探礦法所見的風水術與望氣術之影響 発表者 水口拓壽 武蔵大学人文学

部・教授

阿拉伯・伊斯蘭文化圈的農學著作綜述 發表者 久保輝幸 浙江工商大學東方語言文化學院・副教授

《天地瑞祥志》編纂研究—和其他類書關係為主 發表者 佐野誠子 名古屋大學大学院人文学研究科・准教授

司会 武田時昌 人文科学研究所・教授

コメンテーター 大形徹 大阪府立大学大学院・教授

2019-08-25 一部家國簡史:敦煌 S.2607+ S.9931 寫本研究 發表者 伏俊璉 西華師範大學寫本研究中心・教授

現存時代最早的吐蕃針灸禁忌文獻——敦煌藏文本 P.3288V《逐日人神所在法》整理與研究 發表者 陳于柱 天水師範學院歷史文化學院・教授

關於在日敦煌文獻收藏的研究——以濱田德海收藏文獻的收藏過程為中心 發表者 岩本篤志 立正大學文學部・准教授

關於敦煌文獻《《正月占城氣法》》中“雲氣占”的考察的考察 發表者 椛島雅弘 京都産業大學・非常勤講師

敦煌醫學卷子 D. x00613+P.3287 再考證 發表者 于業禮 上海中醫藥大學・講師

發表者 沈澍農 南京中醫藥大學・教授

司会 真柳誠 茨城大學・名譽教授

コメンテーター 名和敏光 山梨県立大学・准教授

日本現存佛典古寫本的特點及其意義初探—以石山寺本《妙法蓮華經玄贊》寫本為例 發表者 河野貴美子 早稻田大學・教授

齋意類文獻—中國宗教儀式文獻中被忽略的核心內容 發表者 侯沖 上海師範大學哲學系・教授

The Amanosan Kongōji edition of the Biography of Enchin by Miyoshi no Kiyoyuki: A Sacred Teachings (Shōgyō) Manuscript 發表者 George Keyworth 紀強 University of Saskatchewan, Canada

《根本說一切有部律衣事》的梵語寫本和藏語譯本研究劄記 發表者 吳娟 清華大學人文學院・副教授

司会 水口拓壽 武蔵大學人文学部・教授

コメンテーター George Keyworth 紀強 University of Saskatchewan, Canada

《宿曜經》抄本研究初探 發表者 清水浩子 大正大學綜合佛教研究所・客員研究員

Rethinking the Notion of Forgeries and Corruptions in Early Daoist Manuscripts 發表者 Jonathan Pettit 裴玄錚 Assistant Prof., Department of Religion, University of Hawai‘i-Manoa

陰陽陰陽道の展開と術数分野の古写本 發表者 山下克明 大東文化大學東洋研究所・研究員

蠶神馬鳴菩薩信仰的由來 発表者 白雲飛 大阪府立大学・客員研究員

司会 Fung Kam Wi ng 馮錦榮 University of Hong Kong, China

コメンテーター 侯冲 上海師範大学哲学系・教授

古記録所見の勘文と『天地瑞祥志』佚文(資料編) 発表者 名和敏光 山梨県立大学・准教授

寫夢與刻夢—中國古代解夢書產生條件對其傳流與用途之影響 発表者 Dimitri Drettas 賀旦思 Research Fellow, University of Erlangen-Nuremberg, Germany

發病占—研究與保護術數文獻的意義 発表者 佐佐木聰 金沢学院大学・講師

關於《家秘要錄》和《天變地妖記》 発表者 水口幹記 藤女子大学文学系・准教授

司会 陳于柱 天水師範学院歴史文化学院・教授

コメンテーター 武田時昌 人文科学研究所・教授

2019-09-10 園城寺(三井寺)宿曜經及び仏教天文学関係資料等調査

2019-10-25 宿曜經研究会 『宿曜經』卷上 21a03-22a07 続き 発表者 白雲飛

2019-11-25 宿曜經研究会 『宿曜經』卷上 22a08-23b03 発表者 清水 浩子

2019-12-14 「緯書と經書学」国際シンポジウム 緯書研究の進展 発表者 武田時昌 人文科学研究所・教授

《文心雕龍・正緯》篇讀札 発表者 王遜 揚州大学

司会 伊藤裕水 京都大学文学部・非常勤講師

深衣の復原—軼侯夫人と『礼記』疏 発表者 宮崎愛梨 Kaikorium ～懐古空間～・代表

回到孔子和《春秋》:西漢末年讖緯思潮的興起 発表者 徐興無 南京大学・教授

東漢經學家星曆研究:以賈逵、張衡和蔡邕為中心 発表者 馮錦榮 香港大学・教授

緯書における礼經の完備化について 司会 高橋あやの 大東文化大学・非常勤講師

緯書における礼經の完備化について 発表者 末永高康 広島大学・教授

擲錢法の四象判別 発表者 鄭宰相 韓国圓光デジタル大学校・准教授

司会 名和敏光 山梨県立大学・准教授

2019-12-15 《尚書考靈耀》の四遊と《尚書》經文 発表者 伊藤裕水 京都大学文学部・非常勤講師

梁武帝の大業 発表者 孫英剛 浙江大學・准教授

司会 清水浩子 大正大学綜合佛教研究所・客員研究員

緯書的文體特徴 発表者 朱岩 揚州大学・教授

『周易命期略秘伝』初探—『易緯』研究における資料的価値 発表者 藤田衛 広島大学・助教

六朝初期的《郷飲酒禮》:基於皇權與士族關係的考察 発表者 童嶺 南京大学

司会 大形徹 大阪府立大学・教授

2019-12-23 宿曜經研究会 『宿曜經』卷上 23b04-25a04 発表者 小林 博行

2020-01-27 宿曜經研究会 『宿曜經』卷上 25a05-26a02 発表者 清水 浩子

8. 共同研究会に関連した公表実績

【国際研究集会】2019年8月24日、25日 従中古到近代：写本与跨文化国際学術研討会（International Symposium on “From Medieval to Pre Modern Times: Manuscripts and Cross Cultural Studies”）（北京大学東方文学研究中心、北京大学人文学部、ブリティッシュコロンビア大学仏教フォーラムとの共催。北京大学外国語学院新楼501会議室）2019年12月14日、15日「緯書と経書学」国際シンポジウム（京都大学人文科学研究所本館大会議室）

9. 研究班員

所内

武田 時昌、Bill Mak、高井 たかね、宮 紀子、平岡 隆二

学内

上田 真啓（文学研究科・非常勤講師）、伊藤 裕水（文学部・非常勤講師）、伊藤 令子（文学研究科・OD）、瞿 艶丹（文学研究科・博士後期課程）、成 高雅（人間・環境学研究科・博士後期課程）、趙 ウニル（文学研究科・O.D.）、劉 青（人間・環境学研究科・博士後期課程）

学外

高橋 あやの（関西大学）、宮島 一彦（中之島科学研究所・研究員、同志社大学・元教授）、清水 浩子（大正大学）、矢野 道雄（京都産業大学・名誉教授）、梅林 誠爾（熊本県立大学・名誉教授）、白 雲飛（大阪府立大学・客員研究員）、岡田 正彦（天理大学・教授）、吉田 薫（東亜天文学会）、佐々木 聡（大阪府立大学・特別研究員）、福島 雅淳（神戸学院大学・博士後期課程）、名和 敏光（山梨県立大学）、古藤 友子（国際基督教大学）、宮崎 順子（関西大学・非常勤講師）、奈良場 勝（暁星高校・講師）、相川 佳予子（奈良女子大学・元教授）、安部 郁子（(財)研医会・研究員、図書館長）、新井 晋司（同志社女子大学・非常勤講師）、家本 旬二（鍼灸師）、猪飼 祥夫（北里大学）、池内 早紀子（大阪府立大学・修士課程）、石井 行雄（北海道教育大学釧路校・准教授）、岩間 眞知子（日中茶文化研究家）、浦山 あゆみ（大谷大学）、大形 徹（大阪府立大学・教授）、王 財源（関西医療大学）、桐浴 眞智子（大阪医科大学附属病院・鍼灸師）、熊野 弘子（関西大学・非常勤講師）、古藤 友子（国際基督教大学）、小林 博行（中部大学准教授）、坂井 里奈（神戸学院大学・非常勤講師）、島山 奈緒子（関西医療大学・非常勤講師）、高田 宗平（大阪府立大学・客員研究員）、多田 伊織（大阪府立大学・客員研究員）、塚本 明日香（岐阜大学）、張 莉（大阪教育大学）、豊田 裕章（大阪府立豊中支援学校・教諭）、長野 仁（森ノ宮医療大学大学院・教授）、中吉 隆之（関西医療大学）、奈良上 眞（大阪医療技術学園専門学校・教員）、橋本 敬造（関西大学・名誉教授）、濱口 昭宏（医学統合研究会・代表）、早川 尚志（大阪大学）、

林 みどり(関西医療大学・非常勤講師)、平地 治美(千葉大学・非常勤講師)、松岡 尚則(公益財団法人研医会・研究員)、三鬼 丈知(大谷大学)、光平 有希(国際日本文化研究センター・研究員)、横大路 綾子(大阪府立大学)、吉村 美香(愛知淑徳大学)、梁 永宣(兵庫医科大学)、渡邊 真弓(関西医療大学・研究員)、Beatriz Puente-Ballesteros(マカオ大学・助教)

10. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	機関数	参加人数				延べ人数			
		総計	外国人	大学院生	若手研究者	総計	外国人	大学院生	若手研究者
所内	0	5 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (8)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
学内	1	12 (5)	9 (4)	9 (5)	1 (1)	22 (14)	14 (8)	14 (11)	6 (6)
国立大学	8	10 (4)	1 (1)	3 (2)	3 (1)	20 (7)	1 (1)	4 (3)	7 (3)
公立大学	3	8 (4)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	26 (14)	5 (5)	3 (3)	0 (0)
私立大学	19	21 (8)	0 (0)	1 (1)	6 (3)	45 (19)	3 (0)	2 (1)	12 (6)
大学共同利用機関法人	1	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
独立行政法人等公的研究機関	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
民間機関	5	5 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
外国機関	20	47 (12)	45 (12)	20 (10)	4 (2)	96 (24)	92 (24)	40 (20)	8 (4)
その他	22	31 (14)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	38 (18)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
計	79	140 (51)	57 (18)	35 (20)	15 (8)	272 (106)	116 (38)	63 (38)	34 (20)

※()内には、女性数を記載

11. 本年度 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数

参加研究者がファーストオーサーであるものを対象

総論文数	68(57)
国際学術誌に掲載された論文数	40(34)

※()内には、拠点外の研究者による成果(内数)を記載

インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合

理由			
掲載雑誌	掲載論文数	主なもの	
		論文名	発表者名
Historia scientiarum 29(1)	2	Printed Editions and Manuscripts of Tianjing Huowen	平岡隆二
Bhāskara-Prabhā	1	Bhāskarācārya and Kṣayamāsa	矢野道雄
Journal of Jesuit Studies 7 (2)	1	Jesuits and Western Clock in Japan's 'Christian Century' (1549-c.1650)	平岡隆二
Silk Roads: Peoples, Cultures, Landscapes	1	The Amalgamated Map of the Great Ming Empire.	Noriko MIYA
中医稿抄本学術研究国際 研究会論文集	1	漢字圏醫藥古籍數量、内容及其刊寫本之歴史—依據計量經濟史及人文地理學加以研究	真柳誠
従中古到近代 : 写本与跨 文化国際学術研究会予稿 集	32	古記録所見の勘文と『天地瑞祥志』佚文(資料編)	名和敏光
星占いの文化交流史	1	星占いの文化交流史	矢野道雄
啓迪 第34号	1	日本における陸羽『茶経』の受容について 五山文学・日本の茶書を中心に	岩間 眞知子
香文化録 4号	1	和製漢語化した本草用語—五味・薬味・加薬など	真柳誠
人文コミュニケーション学論 集 5号	2	韓国国立中央圖書館の古醫籍書誌(九)	真柳誠

醫譚 復刊 110 号	1	医療の始原	真柳誠
医学・科学・博物／東アジア古典籍の世界	1	日中韓越の医書流通と医学体系の形成	真柳誠
東方学報 94 冊	3	『オルジェイトウ史』が語るアジキ大王の系譜——外交使節の往来と歴史書の編纂(1)	宮紀子
洋学:洋学史学会研究年報 二六号	1	ジュネーブ天儀:17 世紀日本の天文模型	平岡隆二・クリストファー カレン
科学史研究 第Ⅲ期五八卷二八九号	1	『天経或問』の刊本と写本	平岡隆二
東洋研究 第 214 号	1	雨占研究序説	高橋あやの
水口幹記編『前近代東アジアにおける〈術数文化〉』	8	味と香	清水浩子
水上雅晴編『年号と東アジア—改元の思想と文化』	8	年号勘文から見た日本中世における類書利用—『修文殿御覧』をめぐる—	高田宗平
説話の形成と周縁 古代篇	1	日中における「破鏡」説話の源流を探る	白雲飛
史苑 80 卷 1 号	1	諫早庸一「書評 宮紀子『モンゴル時代の「知」の東西』」に対する疑義	宮紀子
川尻秋生編『古代の都城と交通』	1	アジアからみた日本の都城	豊田裕章
辻尾榮市氏古希記念 歴史・民族・考古学論攷 (I)	1	後鳥羽上皇と『喫茶養生記』—宋代喫茶法に関する再検討を含めて—	豊田裕章
古代文化 71-4	1	後鳥羽上皇の水無瀬殿(水無瀬離宮)における政務の裁定について	豊田裕章
町泉寿郎編『漢学と医学』	1	福澤諭吉の科学啓蒙	武田時昌
出土文献総合研究集刊 第 8 輯	1	馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《徙》《天地》《女發》《雜占之二》綴合校釋	名和敏光
出土文献語言研究 第 3 輯	1	“諾皋”考(修訂版)	名和敏光
中國出土醫學文獻與文物研究國際論壇論文集	1	出土資料所見呪語與傳世文獻的諸相	名和敏光
出土文獻與中國經學、古史研究國際學術研討會	1	馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《堪輿》綴合校釋 上(修訂版)	名和敏光

議論文集			
世界漢字学会第七屆年會 會議論文集	1	馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜 占之二》《上朔》及《祭》(一)綴合校釋	<u>名和敏光</u>
大阪市立科学館研究報告 第 28 号	1	蘇州天文図に関する若干の検討と碑 文の訳注	<u>宮島一彦</u>
上古漢語研究 第三輯	1	馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜 占之七》綴合校釋	<u>名和敏光</u>
簡帛語言文字研究	1	馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《室》 《築》綴合校釋	<u>名和敏光</u>
“出土文獻與傳世典籍的 詮釋”國際學術研討會論 文集	1	馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇綴合 之一	<u>名和敏光</u>

※拠点外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す

12. 費目の 30%を超える大幅な変更があった場合の変更理由

なし

13. 次年度の研究実施計画

なし

14. 次年度の経費

なし

15. 研究成果公表計画および今後の展開等

最終年度の研究成果として、論文と訳注の研究成果報告集を編集し、来年度中に刊行する。取り組んだ中心的な研究課題(仏教天文学、中国及び日本の占術書、東アジア医療文化論)などにおいて、中堅、若手研究者を中心とした読解ワークショップをそれぞれ組織し、研究成果や人的資源の発展的な継続、拡充を図り、人文研科学史研究会の新たな研究体制作りに取り組む。8月24-25日に北京において開催した国際シンポジウム「從中古到近代写本与跨文化交流(From Medieval to Pre Modern Times: Manuscripts and Cross Cultural Studies)」、および12月14-15日「緯書と經書学」国際シンポジウムの研究成果書についても、2020年度に刊行する予定である。